

インドネシアの政治指導層に関する基礎統計

I 解 説

インドネシアの政治指導層に関する考察は数多いが、基礎的なデータの統計的表示を行なったものは Soelaeman Soemardi の「社会的出自」調査(註1)(1956年)が最初であろう。しかし、その後、政治情勢の展開に伴って指導層の人的構成にかなりの入れ替えが生じたにもかかわらず、この種の調査ないし基礎データの提示は行なわれていないように思われる。このような欠落を埋めるために作製したものが以下の諸表である。

したがって、それは先行者の仕事を基本的に引き継いでいることはいうまでもないが、一部はデータ入手の困難という事情により、また一部には視点の相違もあって、多少とも異なった構成をとっている。すなわち、S. Soemardi の場合、指導層と目されるもの全員を、閣僚、国会議員、高級官吏の3種に区分しているのに対して、今度の場合は原資料の不足のために、高級官吏が、同じく閣僚を除いて政治エリートの一翼をなす軍部高官が脱落していること、また、全議員ではなく、有力政党に所属している議員のみに限定して、政党間の比較に力点があること、逆に新しい表示項目、たとえば、学位称号や政治活動歴を加えたことなどが大きな差異といえよう。

そして、両者に共通する欠陥といえば、指導者たることの示標を法制的、形式的な権力地位に求めているために、事実上の有力な政治家を欠いたり、あるいは、そうでないものを、恐らくはかなりの数を含んでいる点にある。だが、もともと指導力や権力の実態は、指導者間といえども均等に配分されているものでもなく、平等に発揮されるものでもありえないから、上の欠陥もおよその傾向を確かめるに重大な障害とはならないであろう。

以下に、各表について必要と思われる説明を行ない、表を見るさいの便宜に供することとしたい。

すなわち、諸表はあくまでも試算に基づいて作成されたものであり、必ずしも統計的精密さを旨としたものではない。

1. 閣 僚

対象とした期間は1945年から1964年までで、これを3

期に分けている。この3区分は常識的にみて、共和国の政治展開を画すると考えられる時期区分にそっている。すなわち、第1期(1945～50年)は独立宣言から対蘭独立戦争を経て、主権委譲に至る「革命」期、第2期(1950～57年)は政党制議会民主主義期、そして第3期(1957～64年)は指導制民主主義期、いわゆるスカルノ体制期である。ただし、1957～59年は法制的にはまだ第2期に属し、実態としては第3期への移行期とすべきであろうが、ここでは第3期に含めて考えている(註2)。

次にそれぞれの時期の特色をみてみよう。

(イ) 第1期

政治的独立を達成する道をめぐる諸勢力のヘゲモニー争覇の時期で、対蘭交渉派と完全独立派の対立が軸となっている。しかし、純然たる権力抗争(“ins”と“outs”)の要因も軽視しえない。Dwi Tunggal(二位一体、スカルノ=ハッタ)の関係は緊密で、ことにハッタの(対外的)役割は大きく、政党ではPSI(社会党)が中心的役割をになっている。また、PNI(国民党)とMASJUMI(マシュミ党)も協力関係にある。

(ロ) 第2期

エリートたる地位が政党との関係において保証されたという意味で政党勢力の全盛期であるが、極端な多党併立のためと党内派閥抗争のゆえに、不安定な短期連立政権が次々と交代した。スカルノの政治的影響力の行使は漸次積極的になり、ハッタとの関係は冷却から離反に向かう。そして、ハッタの副大統領辞任(1956年末)によってDwi Tunggalは分解する。これと並行してPNIとMASJUMIも、ウィロボ内閣(1952年4月～53年8月)を転機とし、また共和国最初の議会選挙を旨として対抗関係に移行する。さらに、軍部内の紛争や中央と地方(外島)の対立もからんで、もろもろの矛盾の相乗結果として地方反乱(1957～58年)が発生し「非常事態」の常態化を招く。

(ハ) 第3期

スカルノと中央軍部の合作になる指導性民主主義体制は、1945年憲法への復帰、政党簡素化令(MASJUMI, PSIの禁止)および代議機関の翼賛化、公民的諸権利の制限によって1961年ごろまでに一応の枠組が整う。しかし、このいわゆるスカルノ体制の内部では、地方反乱の

鎮圧と非常事態宣言下で一大政治勢力にのしあがった軍部、その脅威を受けつつ最高指導の権力地位を維持せんとするスカルノ大統領、スカルノの「庇護」のもとに急速な勢力伸長をとげる PKI (共産党)、これら3者の共生・抗争関係が存在しているために、体制は安定的とはいえない。

他面、それがスカルノ体制である以上、スカルノ個人の勢威は大きく、少なくとも中央政界についていえば、それはほとんどスカルノ親政、家産制的様相が濃厚である。インドクリネーション、有力勢力の分断と買い取り、閣僚ポストの増設と閣僚権限の細分割、物的「恩恵」の散布、八方美人的国内諸策の手詰り、財政破綻とインフレ、そして急進対外的な政策がこの期の特徴となっている。

2. DPRS 議長 (1950~55年)

主権委議(1949年末)で成立した連邦共和国(R.U.S.I.)は約半年後に統一共和国に生まれ変わるが、この変化に伴って成立した暫定国民議会(1院制)が DPRS (Dewan Perwakilan Rakjat Sementara) である。DPRS は連邦共和国の議会(2院制)と、連邦の中心メンバーであった「インドネシア共和国」(首都ジョクジャカルタ)の議会(BPKNIP=インドネシア中央委員会幹部会議)および最高諮問会議(DPA)の議員で構成され、発足当初の構成は、

連邦共和国	{ 上院から 29名 下院から 148名
BPKNIPから	46名
DPAから	13名

の計236名であった。これら議員はすべて任命によるものと考えてよく、このような議員選出の変則は、この議会と民選議会の DPR (1956~60年) との人的構成および政党間勢力比率の差異を一部説明するものであろう。

3. DPR 議員 (1956~60年)

DPR (Dewan Perwakilan Rakjat) は共和国の発足以来はじめてのそしてこれまでのところ唯一の、比例代表制による選挙によって成立した民選議会である。したがって、この議会の政党議席比率や人的構成は一応、「民意」、とりわけ(村落)大衆の政治意識を反映したものとさえいえる(注3)。ただし、この選挙結果がそのまま中央政界の実際の力関係を規定したわけではない。すでにこの時期、議会外勢力(スカルノ大統領、軍部)の政治的比重は上昇しつつあるからである。

DPRS と比較するといくつかの差を認めることができる。まず、DPRS (1950~55年) の議員約230名のうち、

この議会に再選されたものはわずか63名にとどまっている。第1党の地位は MASJUMI から PNI へ移り、NU (ナフダトゥール・ウラマ党) および PKI は大きな飛躍をとげて4大政党の様相を呈するが、相互の対抗関係が入り乱れて、安定的な連合勢力は形成されなかった。また、知識人の政党 PSI の議席数は一段と減少し、以前の政治的影響力は失われている。政党間の対抗関係は争点によって一様ではないが、すでに DPRS (1950~55年) 以来、

親・反スカルノでいえば

PNI, (NU), (PKI) 対 MASJUMI, PSI

共産主義をめぐっては

PKI 対 MASJUMI, NU, (PSI)

「回教国家」理念をめぐっては

PNI, PKI, PSI 対 MASJUMI, NU

回教勢力内の2大対抗潮流として

NU 対 MASJUMI

ジャワに依拠する勢力と外領に基盤を有するもの

PNI, NU, PKI 対 MASJUMI

などをやや固定した対立として挙げることができよう。階級利益の観点からする場合、PNI は官僚、輸入業者、MASJUMI は輸出作物栽培者、内国商業階級、回教指導者、NU は(回教)回教教師、(回教)地主、PKI は労働者、貧農にそれぞれ依拠するといった図式が一般的と思われる。しかし、ブルジョアの発展や大地主制の展望のないところで、政党一階級関係にどの程度の政治的意義を付与するべきかは未定の問題であろう。

なおこの民選議会に代わって1960年5月に DPR-GR (「相互扶助」議会) が成立した際、PNI, NU, PKI 所属の議員はほとんどそのまま DPR-GR 議員に任命されている。

4. KONSTITUANTE (制憲議会) 議員 (1956~59年)

制憲議会の選挙は DPR(1956~60年)のそれに3カ月遅れて行なわれた。したがって、制憲議会における政党別の得票比率(議席比率)は DPR (1956~60年) と平行しており、地域別得票についても同様のパターンを示している。制憲議会は DPR(1956~60年) よりも議席数が多いので、それだけエリートの徵募範囲は広いと考えるべきであろう。ここでの最大の争点が Pantja Sila State 対 Islamic State であったことは周知のとおりであるが、結局、憲法の制定に至らぬまま手詰りのうちに1959年スカルノ大統領の1945年憲法復帰宣言によって解散された。一部の議員は、その後の暫定国民協議会(MPRS)に

任命されている。

なお、表を作成するにあたって全議員についてのデータが収集しえなかったために、表は不完全であるが、DPR(1956～66年)議員を兼ねているものは除いてある。

5. DPR-GR (相互扶助議会) 議員, MPRS (暫定国民協議会) 議員

ともに、1945年憲法への復帰に伴って1960年に設置された代議機関である。民選ではなく指名によってのみでなく、政党・職能グループ(軍部を含む)・地域代表(MPRSのみ)の3グループから構成されている。うち政党代表は前記のとおり旧議員(DPR議員)がさしたる入れかえもなく就任している。指名とはいっても、候補リストの作成は、おのおのの政党や団体が行っており、しかも職能団体(労働組合・農民団体・文化団体など)は政党系列が明瞭で、地域代表の場合でも政党帰属・支持の分明なものが多い。表示の「政党所属」はこのようにして確かめたもので、政党代表として任命された議員を含んでいない。

ところで、DPR—GR (Dewan Perwakilan Rakyat Gongtong Rojong), MPRS (Madjelis Permusjawaratan Rakyat Sementara) はスカルノ体制の翼賛機関で実質的な権限を欠いているので、その構成員を政治指導層とみることは疑問であろう。しかし、ここでは、任命されたがゆえに指導者となったのではなく、指導者的存在であるがゆえに選出・任命されたとする考えをとった。

6. 生 年

R. van Niel は世紀初頭から1920年代までを扱ったインドネシアのエリート研究の中で、エリート・タイプの変遷を“traditional, hereditary, cosmologically-oriented”から“modern, education-bared, welfare state-oriented”への移行と特徴づけている(註4)。だが、民族主義運動の流れに則したかたちで、政治世代を構成するだろうか。日本軍政下に政治化し、独立闘争で活躍した青年層を1945年世代と称することに意味があるならば、Budi Utomoの周辺に1908年世代 Sarekat Islamの周辺に1912年世代、戦前のPNIの周辺に1927年世代を構成できるのではなかろうか。

7. 出生地・種族

インドネシアが地理的に分散していることおよび文化的に多様であることと関連して、地域主義と種族主義はしばしば政治抗争のテーマとなってきた。なかでもジャワ中心主義とか、ジャワとスマトラ(あるいは外島)の対立といったことはすでに「常識」となっている感があ

る。確かに民衆レベルにおいては、メダンでのトバ・パタックとカロ・パタックの対立、マカッサルのジャワ人にもみるごとき顕著な例を別としても、地域・種族意識の根強い存在は否定しえないであろう。だが、政治指導層の構成とこの問題はどのような関係にあるのだろうか。

それは第1に、代表する度合いまたは輩出率の「公正」、第2に、政党の地域的・種族的な偏り、第3に、政治風土ないしは psycho-political areas の観点からみることができる。ここで、代表する度合いの「公正」は算術比率の公正ではなく——もしそうならば、ジャワの優位は不可避となる——連邦制や地方自治権の拡大要求を背景にもつことが考慮されねばならない。次に、政党と特定地域・種族との結びつきを過大視するあまり、政党と特定階層(経済的、文化的)との関係が見逃されぬよう注意する必要がある。たとえば、ジャワとスマトラの対立といわれるものは、為替レートや外貨割当て問題の処理のいかんによっては大半の意味を失うかも知れないし、逆に、同じ「ジャワ」政党でも PKI と NU は和解しえない関係にあると思われる。最後の政治風土に関しては、“Javanese-aristocratic”と“Islamic-entrepreneurial”の2種という H. Feith の定式があるが、地域・種族に密着して構成された慣習法圏=下位文化圏によるアプローチも依然として有用と思われる。

8. 地位称号

もちろん現在の共和国には、ジョクジャカルタ特別区(およびその中に含まれるバク・アラム領)の首長を除いて、公認の特権身分は存在しない。したがって、ここで地位称号というとき、それはかつての伝統的支配層たる家系・家柄を意味しており、その性格は一様でないが、大別して3種に区別されよう。第1はジャワ系のもので、Raden Mas, Raden, Mas, Tumenggung など、いわゆるジャワ貴族の称号、第2はマレイ系やスラヴェシ系の Radja, Teuku, Andi, など、外島の土侯や部族首長を指示するもの、第3はイスラム系の Sultan, Imam などがそれである。Hadji は周知のとおり、メッカ巡礼者に対する尊称で、いわゆる身分称号とは違いますが、一種の名望家表示とみることはできよう。そして、それは、回教篤信徒たるほかに、ある程度の「資産」所有を示すものと考えられる。

一般に、旧特権層そのものの、独立インドネシアにおける政治的比重大いことについては疑問がない。独立以後、ほとんどのものが非政治化しており、貴族の政党といわれた PIR (Persatuan Indonesia Raja)

と Parindra (Partai Indonesia Raja) が1955年の選挙でわずか2名しか当選者を出しえなかったのも、旧特権層の政治的失墜をはっきりと示している。しかし、問題が旧特権層出身者の政治的比重という点になると、はたしてどうであろう。確かに、独立後一段と進行した一般的な傾向、すなわち身分称号にかわって学位称号がもてはやされる風潮は、エリートのイメージの変化、エリート形成の民主化を意味するものといえよう。だが、現在のエリートの大半は戦前におけるきわめて限られた教育機会に恵まれた人々であるとすれば、エリート一般における旧特権層出身者の比重がまだ大きいことは容易に推測されるのである。もっとも、エリート一般の動きと特殊政治エリートのそれとの間にあるズレ、また中央と地方とでは、旧特権層の威信が有する意義にかなりの差異と開きがあるではあるだろう。

9. 教育

教育はエリート地位達成の通常の経路であるが、その種類に応じた知識、技能、価値の修得を介して、特定の自己イメージや態度を形成する一因をなすと考えられる。この点で最も基本的な分岐線は、世俗的・西欧型の教育と宗教(回教)教育との間、および初等教育と高等教育の間に引くことができよう。

いったい、インドネシアにおける近代的な教育制度の発展は、今世紀初頭の「倫理政策」以後のもので、同じく旧植民地といっても、インドやフィリピンと比べて著しく遅れて出発している。それは「同種のものとして同種のを治めしめる」間接統治の原理からして、近代的(西欧的)な教育を普及せしめる必要に、さほどには迫られなかったことに基因している。たとえば、高等・中学教育についてみると、1910~14年の年平均卒業者はわずかに4人、1940年にいたっても約240人(全人口7000万人)であり、大学教育となると事情はいっそう悪く、そもそも国内に大学が設立されたのは、バンドン工科大学(1919年)、バタヴィア法科大学(1926年)、バタヴィア医科大学(1926年)という有様であった。もちろん、宗主国オランダへの留学機会のごく少数の人々にしか開かれておらず、国内の大学でさえも1930年、1940年の在学者(卒業生)はそれぞれ178人(4人)、585人(40人)ということであるから、その稀少価値のほどは容易に知れよう。民族主義運動の知的源泉である Westernized Intellectuals の層はまさしく「ナショナリズムを発火させるには充分だが、一国を運営・管理していくには余りにも貧しい」といわねばならないのである。

一方、土着の教育機関すなわち回教系の教育機関は、Surau, Pesantren, Madrasah, Sekolah Islam などの名称をもってよばれ、その性格は寺小屋的、塾的、僧院風のものから、学校形式にいたるまでさまざまある。そして、今世紀以後は世俗教課を導入した学校形式のものが支配的となり、知的スコープが拡大したとはいえ、世俗教育機関と比べると一般的に、その視野の狭さは否定しえないものがあるだろう。ただし、このことは回教シンボルの政治的重要性を減ずるものではない。1955年選挙における NU の飛躍に明らかなごとく、村落レベルでの回教教師の尊敬地位は高く、また、(非回教)教師とともに、村落外の事象を通訳する機能をもっているからである。

10. 職歴

戦前のインドネシアでは、(西欧型)非宗教教育を受けたものの就業分野といえ、その大半は官公職であった。これには農業国という事由もあるだろうが、伝統的な官職選好——とくにジャワ人の場合——も影響しているといわれる。そして、もともと蘭印では蘭印文官組織によるものと、伝統的な土着首長による地方行政(Pamong Pradja)との二重行政がしかれていたもので、同じく官公職といっても分けて考える必要がある。まず、Pamong Pradja の場合、Bupati (県長) を頂点として Assisten Wedana (副郡長) にいたる行政首長を主体とするが、その地位は伝統的支配層の内部で半ば世襲的に占有されていた。したがって一般民衆にとっては閉ざされていた「特権的」地位であったのだが、植民地行政機構が放任的な間接統治原理を離れて、その整備が進行するにつれて、Pamong Pradja 上層の地位は漸次名譽的名目的なものとなり、当の伝統的支配層内部の開明的な子弟にとっても魅力のないものになっていたといわれる。しかしながら、Pamong Pradja をすべて植民地統治権力の手先と性格づけることは不当な一般化であろう。

次に蘭印文官組織についていえば、ここでのインドネシア人官吏は、所得水準の点では、原住民社会における「中産層」の中核をなしていた。しかし、土着人の地位向上機会が限られていたことはいうまでもなく、それは1940年当時でも3039人の高級官吏のうちインドネシア人はわずか221人で、その他約6万人のインドネシア人官吏はすべて管理機能をもたない地位にあったことから察せられよう。

以上のような事情から、有能な青年たちが比較的自由な専門職業に向かったことは当然に考えられる。いうまでもなく、民間企業分野では華商の圧倒的な優位に加え

て、土着人インテリの伝統的な企業活動に対する蔑視感情——とくにジャワ人に著しい——もあって、土着人のウェイトはほとんどとるに足りないものであった。要するに、行政管理や企業経営を担当する実務インテリないし技術インテリが養成される場が乏しかったわけで、このことは、日本軍政期についてもまた独立以後にも甚大な影響をおよぼしている。

11. 政治活動歴（団体所属歴）

政治勢力が多面的かつ分散的であるのは、戦前期と独立後とを問わず、インドネシアの著しい特色である。ここにはインドにおける国民会議派に比すべきものは存在したことがない。また、連合勢力が形成された場合でも、それは一時的で不安定なものにとどまるか、あるいは、うえから強制的に組織されたものに限られている。戦前期の PPPKI, GAPI そして Sorekat Islam, また日本軍政下の MIAI などはその例として挙げることができよう。このような分散性は独立後ももちこされ、PNIの分派が PARINDRA, PARTINDO となり、MASJUMI から PSII, NU, PERTI が独立するなどのことがあり、さらには、スカルノ「挙国一致」体制下においてさえも10個の「公認」政党が存在するという事実は、インドネシアにおける政治勢力の多元性がいかに根強いものであるかを示している。

そこで、本表では独立後の4大勢力の並立が、過去における政治勢力の分散といかなる関係にあるか、その連続と断絶を確かめることが一つ。次に各政党の構成員の団体所属歴からみた当該政党の体質・統合度のいかな。同じ観点から政党相互間の親疎関係、さらに一般的には ideological commitment の度合い、これらを推測する一つの手がかりをうることが期待されている。もちろん、これが可能となるためには、戦前期、日本軍政期および独立戦争期における主要な政治団体の性格づけが行なわれねばならない。たとえば、NASAKOM の3分割、「協力」派と「非協力」派の2分割、戦前の PARTINDO と PENDIDIKAN NASIONAL INDONESIA, Muhammadiyah と NU その他 Perhimpunan Indonesia, Jong Islamieten Bond, 革命闘争期の PESINDO, Hizubullah-Sabillah など多くの分岐線を設定することができよう。

(注1) Soelaeman Soemardi, "Some Aspects of the Social Origin of Indonesian Political Decision Makers", *Transactions of the Third World Congress of Sociology*, London, International Sociological Association, 1956.

(注2) ジュアング内閣(1957年4月～1959年7月)の閣僚中、反スカルノ体制の政党所属者は2人あり、うち1人はスカルノ体制下でも引き続き就任している。

(注3) この選挙の具体的様相については、H. Feith, *Indonesian Election of 1955*, Interim Report series, Modern Indonesia Project, Cornell Univ., 1957に詳しい。

(注4) R. van Niel., *The Emergence of Modern Indonesian Elite*, The Hague, van Hoere, 1960.

II 表

第1表 インドネシア

(イ) 人口種族別比率 (1930年)

種族	比率 (%)
ジャバ	47.02
スマタラ	14.53
マドゥラ	7.28
ミンダナオ	3.36
バタビヤ	2.59
バタビヤ	2.04
バタビヤ	1.88
バタビヤ	1.66
バタビヤ	1.61
バタビヤ	1.52
バタビヤ	1.41
バタビヤ	1.30
サダマ	1.12
サダマ	1.10
サダマ	1.09
サダマ	0.94
サダマ	9.54
計	100.00

(出所) *Statistische Zakboekje voor Ned-Indië 1940.*

(ロ) 地域別人口比率 %

地域	1930年	1961年
ジャバ	0.88	3.06
西ジャバ	17.89	18.14
中ジャバ	22.57	18.96
東ジャバ	2.57	2.31
東ジャバ	24.79	22.48
計	68.70	64.95
アスマタラ	1.65	1.68
北スマタラ	4.18	5.11
西スマタラ	3.15	2.39
南スマタラ (ジャムビ・リオウ)	4.61	4.03
計	13.59	16.21
西南ジャバ	1.32	1.63
東南ジャバ	1.38	1.52
東ジャバ	0.54	0.57
中ジャバ	0.33	0.51
計	3.57	4.23
北スマタラ	1.87	2.06
南スマタラ	5.10	5.23
計	6.97	7.29
バリ	5.70	5.73
小スンダ	計 5.70	5.73
モロ	0.92	0.81
西リ	0.55	0.78
計	1.47	1.59
外島	31.30	35.05

(出所) *Volkstelling 1930. Population Census 1961.*

(ハ) 教育

(a) 大学卒業生 (外国留学を除く)

年度	人数
1924/25	—
1929/30	4
1934/35	14
1938/39	40

(b) 大学入学登録

年度	人数
1920/21	2
1924/25	26
1929/30	91
1934/35	112
1938/39	128

(c) 高等中学 (HBS, AMS) 卒業生

年度	人数
1910/14	4
1920/21	11
1924/25	32
1929/30	157
1934/35	204
1938/39	204

(d) 中等学校 (Mulo) 第1学年入学者

年度	人数
1914/15	47
1919/20	315
1924/25	1,242
1929/30	1,974
1934/35	1,740
1938/39	2,373

(出所) *Commissie tot Bestudeering van Staatsrechtelijk Hervormingen, Verslag, Deel I, 1941~42.*

A. K. Pjnggodigdo, *Sedjarah Pergerakan Rakjat Indonesia*, 1949, p. 12.

(ニ) 職業分類

職業	1930年比率%	1953年比率%
農林業・鉱業	68.9	60.7
工業	10.5	13.3
交通	1.5	2.7
商	6.2	10.0
自官	1.0	0.7
官	2.4	6.0
その他	9.5	6.6
計	100	100

(出所) *Hawkins, "Labor in Transition" Ruth McVey ed., Indonesia, 1963, P. 250.*

資料

第2表 閣僚*(1945~64年)

(イ) 生年

生年	I 期		II 期		III 期	
	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)
1880~85	2	2.3				
1886~90	3	3.4	2	2.3		
1891~95	5	5.7	3	3.4		
1896~1900	17	19.3	10	11.4	4	4.3
1901~05	15	17.0	15	17.0	7	7.6
1906~10	16	18.2	26	29.6	11	11.9
1911~15	20	22.7	20	22.7	26	28.3
1916~20	4	4.6	9	10.2	22	23.9
1921~25	1	1.1	2	2.3	17	18.6
1926~30					4	4.3
1931~35					1	1.1
不詳	5	5.7	1	1.1		
計	88	100.0	88	100.0	92	100.0
閣僚総数	(=112)		91		106	

(注) * 閣僚を以下、下記のとおり3期に分ける。

- I 期 1945年8月31日~1950年9月6日
(大統領内閣) (連邦共和国内閣)
内閣数12 (ジョクジャカルタにおける2内閣を含む)
- II 期 1950年9月6日~1957年4月9日
(ナチール内閣)~(第2次アリ内閣) 6内閣
- III 期 1957年4月9日~1964年9月2日
(ジュアング内閣)~(DWIKORA内閣) 7内閣

(ロ) 任命時年齢*

年齢	1945/50		1950/57		1957/64	
	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)
31~35	17	24.3	2	2.4	2 (1)	2.2
36~40	14	20.0	17	20.0	14 (6)	15.4
41~45	12	17.2	27	31.8	35 (6)	38.4
46~50	12	17.2	19	22.3	21 (3)	23.1
51~55	5	7.1	14	16.4	10 (3)	10.9
56~60	4	5.7	3	3.5	7	7.7
61~65	2	2.8	1	1.2	2	2.2
66~70	1	1.4	1	1.2		
71~75						
不詳	3	4.3	1	1.2		
計	70	100.0	85	100.0	91	100.0

(注) * 複数回にわたって就任したものについては最初の任命時年齢を採用。

() 内軍部・警察。

(ハ) 出生地分布

全国地域別人口 1930年比率 (%)	地 域	I 期		II 期		III 期		計
		人数	比率(%)	人 数	比率(%)	人 数	比率(%)	
1.65	アチエ							
4.18	北スマタ			2	2.4	1	1.1	3
	東スマタ	1	1.4	4	4.7	4	4.4	9
3.15	西スマタ	1	1.4	2	2.4	2	2.2	5
	南スマタ	7	10.0	12	14.0	3	3.3	22
4.61	西ジャ	1	1.4	1	1.1	1	1.1	3
18.77	中ジャ	13	18.6	9	10.5	13	14.1	35
25.14	東ジャ	24	34.3	23	27.0	37	40.5	84
24.79	カリマン	11	15.8	17	20.0	16	18.0	44
3.57	スラヴ	1	1.4	(南) 3	3.6	2	2.1	6
6.97	スラヴ	3	4.3	(南1) 4(北3)	4.7	(南1) 5(北4)	5.5	12
5.70	小スン	1	1.4	(バリ1) 3(フローレス1)	3.6	(バリ1) 2(フローレス1)	2.1	6
0.92	モル	3	4.3	3	3.6	アンボン	1.1	7
イリアン0.55	不詳	4	5.7	2	2.4	4	4.5	10
100	計	70	100.0	85	100.0	91	100.0	246

(二) 種 族 別 *

種族別人口1930年 比率 (%)	種 族	I 期		II 期		III 期	
		人 数	比 率 (%)	人 数	比 率 (%)	人 数	比 率 (%)
バ 1.66	印 欧 人	2	2.9	2	2.4		
マ 7.28	華 僑	2	2.9	2	2.4	1	1.1
ジ 47.02	ス ヤ ン	37	52.8	39	45.8	50(11)	54.8
ア 14.53	ス ヤ ン	9	12.8	7	8.2	13(6)	14.2
バ 1.41	マ タ			2	2.4	1	1.1
マ 2.04	ミ タ	2	2.9	5	5.9	4(1)	4.5
マ 1.61	ミ ナ	1	1.4	3	3.5	3	3.3
マ 3.36	ミ ナ	7	10.0	11	12.9	3	3.3
マ 1.88	バ ナ	1	1.4	2	2.4	1	1.1
マ 3.68	ブギス・マカッサル					1	1.1
マ 1.52	ミ ナ	1	1.4	2	2.4	4	4.5
マ 1.30	ア ナ	2	2.9	3	3.5	1	1.1
マ 1.12	フ ロ					1	1.1
マ 1.10	不 詳	6	8.6	7	8.2	8(1)	8.8
マ 0.94	計	70	100.0	85	100.0	91	100.0
そ の 他 9.54							

(注) *姓名と出生地によって判定したため、不正確たることを免れえない。しかし、大略の傾向をうかがうには充分であろう。()内は軍警を示す。

(四) 地 位 称 号 *

	1945/50		1950/57		1957/64	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
MAS Raden	1	4.5				
R. M.	13	59.1	8	47.0		
R. T.	3	13.6	2	11.7	6	75.0
SULTAN	1	4.5	1	5.9	1	12.5
AGUNG Gde	2	9.1	1	5.9	1	12.5
BAGINDA	1	4.6	1	5.9		
R. A. A.			1	5.9		
R. Pandji			1	5.9		
Teuku			1	5.9		
Dotuk			1	5.9		
計	22	100	17		8	100

(注) *明示しているもののみをかぞえた。(開明的)指導者は多く貴族称号を使用しないから、貴族出身者の実際の数は表示のそれを大幅に上回ることは確実である。

(五) 教 育 水 準

水 準		1945/50		1950/57		1957/64	
		人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
大 学	完 了	47	76.9	43	65	36	57.1
	未 修	3		7		4	
専 門	OSVIA ⁽¹⁾	1	13.9	3	15.5	2	15.7
	STOVIA ⁽²⁾	2		2		1	
	NIAS ⁽³⁾ (その他)	6		2		1	
中 等	高 中	2	4.6	5	11.7	5	18.6
	技 芸	1		3		5	
初 等	不 詳	1	4.6		7.8	2	8.6
		2		6		4	
計		65	100.0	77	100.0	70	100.0

(注) (1) OSVIA=Opleidings-School voor Inlandse Ambtenaren
 (2) STOVIA=School tot Opleiding voor Indische Artsen (1851~1926)
 (3) NIAS=Nederlandsche Indische Artsen-School (Surabaja)

資 料

(D) 職 歴 *

職 種	~1942						1942~45					
	I		II		III		I		II		III	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
官公吏 中地そ の 央方他	14	25.4	25	38.5	13	27.6	21	39.5	33	50.0	25	35.2
専 門 職 業 公 立 教 師 師 士 師 師 師 師 私 立 ナ リ ト ト ト ト ト ト シ ャ ナ リ ス ト ト ト ト ト 丹 井 医 技 牧 団 体 役 員	21 11 6 7 8 5	71.0	6 9 6 6 8 3 1	60.0	3 6 1 5 6 4 1 2	59.6	3 6 5 5 7 2	52.9	7 4 3 4 8 1 1	42.4	5 2 2 5 9 3	36.7
民 間 地 企 業 業 職 主 主 員	1 1		3.6		1		1.5		1		2.1	
勞 農 勞 働 者, 農 民												
軍 KNIL ゲ リ ラ PETA TNI (警)					5(1)	10.7	3	5.7	3	4.5	17(5)	23.9
不 詳												
計	55	100.0	65	100.0	47	100.0	53	100.0	66	100.0	71	100.0

(E) (専 攻) 学 位

専 攻	1945/50	1950/57	1957/64
法 学	22	26	21
医 学	11	7	7
工 学	10	9	5
経 済 学	1	4	5
農 業	1	1	1
文 学	3		
宗 教	1	2	1
STOVIA	2	2	1
OSVIA	1	3	2
NIAS		2	1
軍 警 察			14 2
計	49	48	(56)

(F) 宗 教 (回 教) 教 育

	1945/50(人)	1950/57(人)	1957/64(人)
大 中 初	1 3	7	7

(G) 留 学 地

	1945/50(人)	1950/57(人)	1957/64(人)
オランダ	25	15	11
イギリス			
スイス			
カイロ			
(アズハル)	1		

(注) オランダ留学のほとんどはレイデン大学。

(H) 軍 事 教 育 (1957/64 閣 僚 の み)

KMA (BREDA)	3(人)
SSKOAD	3
FORT LEAVENWORI	2
FORT BENNING	1
R. A. F. STAFF COLLEGE	1
MARINE SCHOOL	1
GENERAL LINE	1
幹部練成隊	2
S. POLISI	2
計	17

(注) *区分された年の間に、閣僚のI期、II期、III期の人たちがどのような職種についていたかを示した。

() は警察。

職 種	1945~50						1950~63					
	I		II		III		I		II		III	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
官吏	16	84	30	57.7	26	37.1			12	44.5	28	45.2
専門職業	1 1 1	16	6 1 3 2 3 2	32.7	1 1 1 3 2 3	15.7			4 1 4 2 2	48.1	3 1 2 2 2	16.1
民間			3	5.8	2 1	4.3			2	7.4	3	4.8
労農												
軍	KNIL PETA			2 3.8	30(4)	42.9					21(4)	33.9
不詳												
計	19	100	52	100.0	70	100.0			27	100.0	62	100.0

(a) 政治運動歴 (政治団体所属)

(a) 1942年まで

団 体	I	II	III
Perhimp Indonesia	8	3	5
P N I	5	1	3
Muhammadiyah	3	1	3
P S I I	3	6	1
N U	2	5	4
Jong Java	2	3	6
J. I. B.	2	6	2
Indische Parij	2	—	—
Pasundan	2	—	1
P P P K I	2	—	—
P I I	2	1	—
TAMANSISWO	1	—	—
INDONESIA MUDA	1	7	8
PARTINDO	1	2	1
PARINDRA	1	1	5
Penjadar	1	2	—
P P P I	1	5	—
Persis	1	1	—
U. S. I.	1	—	—
労働者運	1	—	—
婦人運	1	—	—
GERINDO	3	1	6
K B I	—	2	1
P E R T I	—	1	—
G A P I	—	1	—
Budi Utomo	—	—	1

(b) (1942~45年)

団 体	I	II	III
地下運動会	3	—	—
奉公	1	—	—
“PUTERA”	9	5	2
M I A I	4	6	1
P K I	—	—	1

(c) 1945~50年

団 体	I	II	III
B K R	2	—	—
B F O	4	—	—
P G R I	1	—	—
P E S I N D O	2	—	1
S O B S I	1	—	—
A P I	1	—	1
Pers. Perdjuangan	2	2	3
LASJKAR RAKJAT	1	—	—
Hizubullah-Sabillah	—	3	—
B T I	—	1	1
K R I S	—	1	—
ANGKATAN MUDA	—	1	3
ゲリラ	—	4	8
T N I	—	—	16

資料

(d) 1950~63年

団 体	I	II	III
P N I	11	15	12
MASJUMI	7	15	—
[N U]	2	6	10
Partai Sosialis	7	3	—
P S I I	5	5	2
PARKINDO	3	3	4
P I R	2	8	—
P K I	2	—	3
KATHOLIK	1	5	1
P. BURUH	1	1	—
BAPERKI	1	—	1
KONGRESWANITA	1	—	1
P R N	—	4	1
PARINDRA	—	2	—
PERTI	—	1	—
I. P. K. I.	—	1	2
MURBA	—	1	2
SERIKAT	—	—	—
KERAKJATAN	—	1	1
INDONESIA	—	—	—
Mohammadiyah	—	—	1
Pers Pegawai Police	—	—	1
PARTINDO	—	—	1
T. A. D.	—	—	11
N. A. L.	—	—	5
I. A. U.	—	—	3
POLISI	—	—	3

第3表 DPRS 議員(1950~55年)*

(注) *1954年現在総数234人。

MASJUMI=マッシュムミ党 NU=回教教師連盟
 PNI=国民党 PIR=大インドネシア党 PSII=
 サレカット・イスラーム党 PSI=社会党 PKI=
 共産党。

(出所) *Kepartaian dan Parleментарia Indone-*
sia, Kem. Penerangan, 1954.

Kami Perkenalkan Kem. Penerangan [1954].

(f) 出生地別 (人)

出生地	MASJUMI	NU	PNI	PIR	PSI	PKI	閣僚(二期)
ア チ エ	2		1				
北スマタ	1			1		1	2
タバスリ	1	1	1				4
東スマトラ	3		2	2	1	1	2
西スマトラ	3		2	1	1	1	12
南スマトラ	5		4	2	3	1	1
西ジャワ	2		4		2	4	9
中ジャワ	8	1	11	2	1	5	23
東ジャワ	3	2	9		4	4	17
マドウラ	5	1	—				
カリマンタン	5	1	2	6	1		3
スラヴエン	3		4	3			4
小スンダ	—	1	1				3
モルツ	—		1				3
外 国				1			
不 詳	1				1		2
計	42	7	42	18	14	17	(85)

(e) 生 年

生 年	MASJUMI		NU		PNI		PIR		PSII		PSI		PKI		閣僚(二期)	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
1881~ 85							1	5.6								
1886~ 90					1	2.4									2	2.3
1891~ 95	1	2.4	1	14.3			1	5.5					1	5.9	3	3.4
1896~1900	5	11.9	1	14.3	3	7.1	3	16.7					2	11.8	10	11.4
1901~ 05	6	14.3			4	9.5	3	16.7					2	11.8	15	17.1
1906~ 10	11	26.2	2	28.6	17	40.5	5	27.8			2	7.2	3	17.6	26	29.5
1911~ 15	8	19.0	2	28.6	11	26.2	5	27.8			2	14.2	3	17.6	20	22.7
1916~ 20	7	16.6	1	14.3	2	4.8					5	35.7	1	5.9	9	10.2
1921~ 25	3	7.2			3	7.1					5	35.7	4	23.5	2	2.3
1926~ 30													4	23.5		
不 詳	1	2.4			1	2.4					1	7.2			1	1.1
計	42	100.0	7	100.1	42		18	100.0			14	100.0	17	100.0	(88)	100.0
内 DPR(56~60)	15		3		12		1				1		9			
KONSTITUANTE	4		2		6		1			—		1				

資料

(イ) 種族分布

人 種 名	MASJUMI		P N I		P I R		N U		P S I		P K I		閣僚(Ⅱ期)	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
ジス (マ ア バ マ ミ バ ミ ブ (中 ア 印 華 ア 不	10 2 5 2 2 8 3 1 1 1 1 6	23.8 4.8 11.9 4.8 4.8 19.0 7.1 2.4 2.4 2.4 2.4 14.2	16 5 1 1 6 2 1 2 1 1 3	38.1 11.8 2.4 2.4 14.2 4.8 2.4 4.8 2.4 2.4 7.1	3 1 1 1 6 1 2 1 1 1 3				4 1 1 2 1 2 1 1 2 2		11 3 1 1 1 1 1 1 1 1		39 7 2 5 3 11 2 2 3 2 2 7	45.9 8.2 2.4 5.8 3.5 12.9 2.4 2.4 3.5 2.4 2.4 8.2
計	42	100.0	42	100.0	18		7		14		17		85	100.0

(ロ) 地位称号

	P N I	MASJUMI	P I R	N U	P S I	P K I	閣僚(Ⅱ期)
RADEN	7	4	4			1	10
Ra. MAS(R. T.)	1	2		1			3
MAS	2		2				1
Teu Ku	1						
Bagus Putra	1						
Datuk	1						1
Sutan Radja Mas	1		1		1	1	1
Andi		1					
Pangeran		1					
— gde —		1					1
Hadji(Ki, Kijai)		8		2			
計	14	17	7	3	1	2	17
所属議員総数	42	42	16	7	14	17	85

資料

(㊦) 教育水準

水 準			MASJUMI		P N I		N U		P I R		P S I		P K I		閑僚(Ⅱ期)	
			人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
大学	完 未 了 修	7(1)	16.1	6(4)	14.2			3(1) 2	27.8	4 1	35.7	1 1	11.8	43 7	58.1	
専 門	OSVIA MOSVIA STOVIA (その他)	2	4.7	2 2 4	19.0			4 1	27.8					3 2 2 7	16.3	
中 等	技 芸	11	26.2	15	35.7			2	11.0	3	21.4	6 2	47.1	8 1	17.5	
初 等								1	5.6			2	11.8			
	不 詳	15	35.7	10	24	4	57.1	5	27.8	5	35.7	5	29.3	6		
宗 教 教 育	大 中 初 学 等 等	1(1) 4(3) 2	16.7	1 2	7.1	3	42.9			1	7.1			7	8.1	
	小 計	7(4)		3		3				1						
總 計			42	100.0	42	100.0	7	100.0	18	100.0	14	100.0	17	100.0	(86)	100.0

(注) ()内は海外留学。

(㊧) 専 攻 (学 位)

専 攻		MASJUMI	P N I	P I R	P S I	P K I
法 医 工 社	学 学 学 経	4	6 4	1 1	3	
		1	1		1	1
	計	6	11	2	4	1

(ト) 職 歴

職 種		~1942											
		I		II		III		IV		V		VI	
		人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
官公吏	各判情宗そ 級行事、政、首 報、報、教 の	4 1 1 3	29.0	1	25.0	2 6 2	29.4	7 1	47.1	1 1 1	50.0	2	18.2
専門職業	公立教師 私立教ナリ シヤ一ナス 升進医技団宗 教 団	4 8 2 2 3 1 1	61.3	1 1	50.0	5 3 2 3 4 1 1	55.9	3 1 1	29.4	2	33.3	2 4	54.5
民間	地企企そ 業の 業職 主家員他	1 2	9.7	1	25.0	2 1 1 1	11.8	2	11.8	1	16.7	1	9.1
労 農 (労組)												(2)	(18.2)
軍	KNIL PETA	TNI ゲリラ	(警)			(1)	2.9	(2)	11.7				
計		31	100.0	4	100.0	34	100.0	17	100.0	6	100.0	11	100.0

職 種		1942~45											
		I		II		III		IV		V		VI	
		人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
官公吏	各判情宗そ 級行事、政、首 報、報、教 の	3 3 1 8	42.8	1 1 1	42.9	2 7 2	32.3	9 3	85.7	1 2	37.5	1	16.7
専門職業	公立教師 私立教ナリ シヤ一ナス 升進医技団宗 教 団	4 5 1 2 1 1 1 1	42.8	2	28.5	5 2 3 2 4 1	50.0	1 1	14.3	1 1 1	37.5	2 1	50.0
民間	地企企そ 業の 業職 主家員他	1	2.9	1	14.3	2 1 1	11.8			1	12.5	1	16.7
労 農 (労組)												1	16.7
軍	KNIL PETA	TNI ゲリラ	(警)	4	11.5	1	14.3	2(1)	5.9			1	12.5
計		35	100.0	7	100.0	34	100.0	14	100.0	8	100.0	6	100.0

資 料

職 種		1945~50											
		I		II		III		IV		V		VI	
		人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)
官公吏	各判情宗そ 級 行事報、 政檢教 首 長事育教他	2 3 3 3 1	57.2	1	20.0	7 3 3 2	55.6	11 1 2	87.5	2 1 2	71.4	1	10.0
専門職業	公私立教 シヤ一ナ 井医技団宗 教 団	3 2 2	33.3	1	20.0	3 1 4 1	33.3	1	6.25	1	14.3	1 1 1	30.0
民間	地企企そ 業の 業の 職 主家員他			2	40.0	2	7.4	1	6.25				
労 農 (労組)												(1)	10.0
軍	KNIL TNI PETA ゲリラ (警)	2	9.5	1	20.0	1	3.7			1	14.3	5	50.0
計		21	100.0	5	100.0	27	100.0	16	100.0	7	100.0	10	100.0

職 種		1950~							
		I		II		III		IV	
		人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)
官公吏	各判情宗そ 級 行事報、 政檢教 首 長事育教他	1 3	50.0			2 1 2	50.0	4	100.0
専門職業	公私立教 シヤ一ナ 井医技団宗 教 団	1 1 1	37.5			1 1	20.0		
民間	地企企そ 業の 業の 職 主家員他	1	12.5			3	30.0		
労 農 (労組)									
軍	KNIL TNI PETA ゲリラ (警)								
計		8	100.0			10	100.0	4	100.0

(注) I—MASJUMI (議席数42) II—NU (議席数7) III—PNI (議席数42) IV—PIR (議席数18) V—PSI (議席数14) VI—PKI (議席数17)

(ア) 政治運動歴(政治団体所属)

(a) 1942年まで

MASJUMI	P N I	NU	P I R	P S I	P K I	
J. I. B.	6 PARTINDO	5 NU	3 J. L. B.	3 P N I	1 鉄道労組	2
MUHAMMADYAH	5 INDON MUDA	4	P N I	1 Parhimp, Indon	1 港 湾 労 組	2
P I I	5 GERINDO	3	Perhimp Indon	1 I. S. D. P.	1 I. S. P. P.	1
Persis	3 Jong Java	1	B. U.	1 S. D. A. P.	1 S. D. A. P.	1
S. I.	2 Jong Sumatranen	1	Jong Sumatora- nen	1 婦 人 団 体	P K I	1
P. S. I. I.	2 Bond	1	Bond		Jong Java	1
S. I. S.	2 J. I. B.	1	Indon Muda	1	Taman Siswo	1
Perhimp Indon	1 Perhimp, Indon	1			Partindo	1
B. U.	1 P. P. P. I.	1			Gerindo	1
Jong Java	2 Taman Siswo	1			Gerindom	1
PPBB	1 P S I I	1				
PPPI	1 P K I	1				
SAREKAT TANI INDON	1 P N I	1				
"ISTERI INDON"	1 Rarindra	1				
AI DJAMIJATUL	1 Partai Selebes	1				
INDON MUDA	1 S. B. Bangka	1				
PARINDRA	1					
I. M.						

(b) 1942~45年

MASJUMI	P N I	N U	P I R	P S I	P K I	
PETA	3 Putera	2 MASJUMI	3 "Putera"	1 PETA	1 "DIGUL"	2
"PUTERA"	2 奉公会	1 Madjelis Luhur	1		1 ill, "PKI"	1
MIAI	2 "DIGUL"	1 Ikatan Madrasah			1 Pemuda Angkatan Barn	1
					1 奉 公 会	1

(c) 1945~50年

MASJUMI	P N I	N U	P I R	P S I	P K I	
MASJUMI	Partai Serikat	1 Hizbullah-	2	Partai Kedaula-	1 運輸労組	2
P N I	1 Nasional Bangka	1 Sablillah		tan Rakjat	1 A P I	1
P I R	1 P. Pep, Barisan Nasional	1 Partai Gerakan	1	T R I	1 T N I	3
PARTAI TANI INDON	1 Indon (Menado)	1 Muslimin		"SIKAP"	1 PESINDO	2
PARTAI ARAB INDON	1 P. Indonesia Merdeka	1 Indon.		"SAN MING HWEE"	1 (PKI)	
SAREKAT TANI	1 P. Ikatan Nasional Indon					
ISLAM INDON	1 Serikat Rakjat Indon					
GERAKAN MUSLIMIN	1 Parindra					
INDON	1 P. K. I.					
Pehuda Islam Indon	2 PARKINDO					
ANGKATAN MUDA	1 PESINDO					
Nurul Isram	1 SARBUPERI					
Kongres WANITA	1 Gabungan Serekat					
Kongres Alim Ulama	1 Buruh Indon					
SAREKAT BURUH Gu Pa	1 KOWANI					
MUFTIMARKA ULAMA	1 Lasjkar Kris					
(ANGKATAN PERANG)						
B K R						
ゲ リ ラ						

資料

第 4 表 D P R 議員(1956~60年)*

(注) 1956年現在の総数257名。

* A. van Marle "The First Indonesian Parliamentary Election", *Indonesia*, IX, 1956, P. 258.

(出所) *Hasil Rakjat Milih Tokoh-Tokoh Parlemen di Indonesia*, Djakarta, GITA, 1956.

(イ) 出生地

	P N I			MASJUMI			N U		
	人数	比率 (%)	1950~55 比率 (%)	人数	比率 (%)	1950~55 比率 (%)	人数	比率 (%)	1950~55 比率 (%)
北スマトラ(含アチェ)	1	1.9	2.4	6	10.7	7.2			
タスマン	1	1.9	2.4			2.4	1	2.3	14.3
東スマタ	1	1.9	4.8	2	3.6	7.1			
西南スマタ	1	1.9	4.8	10	17.9	7.1	1	2.3	
	2	3.7	9.5	4	7.1	11.9	1	2.3	
西ジャバ	6	11.1	9.5	9	16.1	4.8	6	13.6	
中ジャバ	18	33.3	26.1	4	7.1	19.1	8	18.1	14.3
東ジャバ	14	25.9	21.4	7	12.5	7.1	18	41.0	28.5
小スマタ	2	3.7	2.4	3	5.3				14.3
スラヴ	1	1.8	9.5	5	8.9	7.1	2	4.5	
スカリ	1	1.8	4.8	1	1.8				
カマリ	1	1.8	2.4	2	3.6	11.9	2	4.5	14.3
◎(マド)									
◎(ジャカ)							4	9.1	14.3
不詳	5	9.3		2	3.6	2.4	1	2.3	
計	54	100.0	100.0	56	100.0	100.0	44	100.0	100.0

(ロ) 生 年

生 年	P N I		MASJUMI		N U		P K I		P S I I		PARKINDO		KATHOLIK	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
1886~ 90					1	2.3								
1891~ 95	1	1.7			1	2.3								
1896~1900	1	1.7	3	5.4	2	4.5			2	25.0			1	16.7
1901~ 05	7	12.2	8	14.3	3	6.8	3	7.7	1	12.5	2	25.0		
1906~ 10	14	24.5	12	21.4	10	22.7	4	10.3	1	12.5	1	12.5		
1911~ 15	13	23.1	16	28.6	11	25.6	6	15.4	4	50.0	2	25.0	3	50.0
1916~ 20	13	23.1	13	23.2	7	15.9	10	25.6					1	16.7
1921~ 25	5	8.6	4	7.1	4	9.1	13	33.3			3	37.5		
1926~ 30					4	9.1	1	2.6					1	16.7
1931~ 35														
不詳	3	5.3			1	2.3	2	5.1						
計	57	100.0	56	100.0	44	100.0	39	100.0	8	100.0	8	100.0	6	100.1
うち DPRS (1950~55年議員数)	12		15		3		9		3		2		3	

(イ) 出生地 (続き)

	P K I			P S I I		PARKINDO		KATHOLIK	
	人 数	比 率 (%)	1950~55 比率 (%)	人 数	比 率 (%)	人 数	比 率 (%)	人 数	比 率 (%)
北ス マ ト ラ(含 アチエ)	3	7.6	5.9					1	16.7
タス バ	1	2.6	5.9			2	25.0		
東ス マ ト	1	2.6	5.9	1	12.5				
西ス マ ト	1	2.6	5.9						
西ジ ャ ヲ	4	10.2	23.5	2	25.0				
中ジ ャ ヲ	11	28.2	29.4	2	25.0			3	50.0
小ス ヲ	13	33.3	23.5	2	25.0				
スラ ヲ	2	5.1				3	37.5	2	33.3
スカカモ	1	2.6		1	12.5				
◎ (マ ド ウ)	1	2.6				1	12.5		
◎ (ジ ャ カ ル)	1	2.6							
不詳	1	2.6							
計	39	100.0	100.0	8	100.0	8	100.0	6	100.0

(ハ) 種 族 別

種 族	PNI			MASJUMI		NU		PKI				
	人数	比 率 (%)		人数	比 率 (%)	人数	比 率 (%)	人数	比 率 (%)			
ジス (マ アバ)	53 5(1) パンテン	58.9 8.9	(38.1) (11.8)	13 7(2) パンテン	23.2 12.5	(23.8) (4.8)	7 4 3	15.9 9.1 6.8	21 4 1	53.8 10.2 2.6	(64.7) (17.6)	
マバ	2	3.5	(2.4)	2 3	3.5 5.4	(4.8)	2 2	4.6 2.3	2 4	5.1 10.2	(5.9)	
マバ	3	5.4	(14.2)	4	7.1	(19.0)	1		2	5.1	(5.9)	
マバ	1	1.8	(4.8)	11	19.8	(7.1)			1	2.6	(5.9)	
マバ	2	3.6	(2.4)						1	2.6		
マバ	1	1.8	(4.8)			(2.4)			1	2.6		
マバ	1	1.8	(2.4)	3	5.4	(4.8)			1	2.6		
小ア	1	1.8	(2.4)	2	3.5				1	2.6		
印			(4.8)	2	3.5							
不	7	12.5	(7.1)	9	16.1	(14.2)	1 26	2.3 59.0	1 1	2.6 2.6		
計	56	100.0	(100)	56	100.0	(100)	44	100.0	(100)	39	100.0	(100)

(注) ()内は前議会 DPRS における相当数字。

(ニ) 地位称号

	PNI	MASJUMI	NU	PKI
Raden	3	2	2	1
R. Mas	1			
— gde —	1			
Andi		1		
R. Tumenggung			1	
計	5	3	3	1

資料

(ハ) 教育水準

水 準			P N I			MASJUMI			N U		
			人 数	比率 (%)	1950~55 比率 (%)	人 数	比率 (%)	1950~55 比率 (%)	人 数	比率 (%)	1950~55 比率 (%)
大学	完未	了修	5(3)	8.9	14.2	5 3	14.3	16.7	2(1) 1	6.8	
専門	OSVIA NIAS STOVIA その他	その他	2 1 11	25.0	19.0	1 1 1	5.3	4.7	3	6.8	
中等	高中技	等等芸	9 20	51.8	35.7	5 6 6	30.4	26.2	2 6 1	20.5	
初		等	2	3.6		3	5.3				
不		詳	5	8.9	2.4	1	1.8	3.7	1	2.3	57.1
宗教教育	大高中初	学等等等	1	1.8	7.1	1(1) 5(3) 18	42.9	16.7	1(1) 4 22 1	63.6	42.9
	小	計	1			25(4)			28(1)		
総		計	(56)	100.0	100.0	(56)	100.0	100.0	(44)	100.0	100.0

水 準			PKI			PSII		PARKINDO		KATHOLIK	
			人 数	比率 (%)	1950~55 比率 (%)	人 数	比率 (%)	人 数	比率 (%)	人 数	比率 (%)
大学	完未	了修	4(1) 1	12.8	11.8			2	25.0	1(1)	16.7
専門	OSVIA NIAS STOVIA その他	その他	1	2.6				1 1	25.0		
中等	高中技	等等芸	6 11 3	51.3	47.1	1 6	87.5	3 1	50.0	2 1	50.0
初		等	7	17.9	11.8	1	12.5				
不		詳	6	15.4	29.3					1	16.7
宗教教育	大高中初	学等等等								1	16.7
	小	計								1	
総		計	(39)	100.0	100.0	(8)	100.0	(8)	100.0	(6)	100.1

(注) ()内は海外留学。うち、宗教教育の場合はアズハル、カイロ、メッカが、非宗教教育の場合はオランダがほとんどである。

(2) 職 歴

職 種	~1942								1942~45														
	I		II		III		IV		I		II		III		IV								
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)							
官公吏 各級行政首長 その他の事務他	3(2)	26.1	1	15.5	2	18.9			5(2)	55.3	2	42.2	4	44.0	1	21.4							
	9		6		3		2	10.0	16		8		3		2								
専 門 職 業 公立教師 私立教師 ジャーナリスト 昇進医技画団 師俗宗士師師家員	24	67.4	—	66.7	3	73.0	4	65.0	7	36.8	2	40.0	2	36.0	1	35.8							
	1		2		2		2		1		3		1		1		1	1	1	1			
	2		2		3		1		1		1		1		1		3	3	5	7	3	1	1
	2		2		3		1		1		1		1		1		3	3	5	7	3	1	1
民間 企業家員	1	6.5	5	17.8	2	8.1	2	10.0	1	5.3	5	15.6	3	12.0	1	14.8							
	2		3		1		2		1		2		1		2		1						
労働者(労組) 農 民							3	15.0							3	21.4							
軍警 KNIL, PETA, TNI									1	2.6	1	2.2	2	8.0	1	7.1							
不 詳																							
計	46	100.0	45	100.0	37	100.0	20	100.0	38	100.0	45	100.0	25	100.0	14	100.0							

職 種	1945~50								1950~63													
	I		II		III		IV		I		II		III		IV							
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)						
官公吏 各級行政首長 その他の事務他	6(1)	63.0	7	36.8	1	46.1			3	67.6	6	70.3	3	71.9								
	18		5		2		4	1	9		47.4		22		12	8	16	4	2	66.7		
専 門 職 業 公立教師 私立教師 ジャーナリスト 昇進医技画団 師俗宗士師師家員	4	20.0	—	39.5	—	15.4	1	21.0	4	24.3	1	18.9	3	18.8								
	1		1		8		2		1		2		1		1	1	1	1	1	1		
	2		1		4		1		1		1		1		1	1	1	1	1	1	1	1
	1		1		1		1		1		1		1		1	1	1	1	1	1	1	1
民間 企業家員			5	13.2	2	15.4	1	5.3	3	8.1	4	10.8	3	9.3								
労働者(労組) 農 民							(1)	(5.3)														
軍警 KNIL, PETA, TNI	6	17.0	4	10.5	3	23.1	4	21.0														
不 詳																						
計	38	100.0	38	100.0	13	100.0	19	100.0	37	100.0	37	100.0	32	100.0	3	100.0						

(注) I—PNI(議席数56) II—MASJUMI(議席数56) III—NU(議席数44) IV—PKI(議席数39)。

資 料

(b) 取得学位(専攻)

専攻	P N I	M A S	N U	P K I	P S I I	PARK	KATHO
法医学	5	6	1	1		1	
工学	1				2	1	
社会経済		2	1	1			
OSVIA	2	1	3	1		1	
STOVIA		1					
NIAS	1	1					
計	9	11	5	4	0	3	0

(c) 政治運動歴(政治団体所属)

(a) 1942年まで

P N I	MASJUMI	N U	P K I
PARINDRA	13 MUHAMMADIYAH	15 NU	22 GERINDO (GAPI)
INDON MUDA	10 J. I. B.	15 (ANSOR)	3 PARTINDO
Jong Java	7 P. I. I.	10 PSII	3 I. M.
GERINDO	6 PERSIS	4 INDON MUDA	2 PNI (S. B.)
PARTINDO	4 PSII	4 MUHAMMADI	1 Perhimp, Indon.
TAMANSISWA	3 PENJEDAR	3 YAH	1 Jong Java
Perhimp Indon	2 GAPI	3 J. I. B.	1 Parindra
B. U.	1 AISJAH	2	1 Persatuan Pemuda
S. I.	1 P. B. PERMI	2	1 Taman Siswa
P K I	1 PASUNDAN	2	1 PBKI
Muhammadiyah	1 NU. ANSOR	1	1 (Pers Buruh Kereta Api)
J. I. B.	1 PARINDRA	1	1 P. B. S. T.
P. P. B. B.	1 PMI (Pemuda Muslimin)	1	1 (Perhimp Beambte Spoor dan Tram)
協同組合運動	3 PERHIMP INDON	1	1 SERKATPEGAWAI
P N I	5 INDON MUDA	1	1 PELAJARAN
	1 Studenten Islam	1	1 その他労運
	1 Studie Unie	1	1 PPPJ
	1 ISLAM SUMATERA	1	1 K. B. I.
	1 Paudu Pw	2	
	1 イスラーム教育団体	5	
	1 労働運動	1	

(b) 1942~45年

P N I	MASJUMI	N U	P K I
	MIAI	5 MASJUMI	13 GERI NDOM (地下運動)
	NU	1 MIAI	3 BARISAN BANTENG
	婦人会	1 婦人会	1 Pemuda ANGKATAN BARU
			1 DIGUL
			3 Australia
			1

資料

(c) 1945~50年

P N I	MASJUMI	N U	P K I
PNI	HIZBULLAH	HIZBULLAH	7 PESINDO 7
BARISAN PEROPOR	4 SABILLILAH	8 SABILLILAH	BARISAN RAKJAT 1
KOWANI	4 G. P. I. I.	その他 ゲリラ	3 その他 ゲリラ 4
PESINDO	2 (GERAKAN Pemuda ISLAM Indon)	7 ALRI	1 T. N. I. 2
BKR	1 LASJKAR S. T. I. I.	4 GPII	2 A. P. I. 5
KRIS	1 (Serikat TANI ISLAM Indon)	3 PARTAI KEDAULATAN RAKJAT	1 F. D. R. 4
LASJKAR RAKJAT	1 Pemuda Rep Indon	1	PARTAI SOSIALIS 1
BARISAN HARIMAU	1 MADJELIS ISLAM LOMBOK	1	PARTAI Burah 1
LIAR	3 Pemuda Islam	1	Pemuda Puteri Indon 1
その他 ゲリラ	2 PGRI	1	S. B. K. A. 1
PGRI	1 PGII	1	SARBUPURI 1
PARTAI RAKTAT INDON	1 (Pers Gura Islam)		華 僑 団 体 1
SARBUPRI			PKI —

(d) 1950~63年

P N I	MASJUMI	N U	P K I
PNI	MASJUMI	HIZBULLAH-	7 C. C. PKI 2
中 央	6 中 央	10 SABILLILAH	支 部 1
支 部	20 地 方	19 その他 ゲリラ	3 SOBSI 7
Pemuda Demokrat	5 MUSLIMAT MASJUMI	3 ALRI	1 BTI 5
Wanita Demokrat	2 MUHAMMADIYAH	2 G. P. I. I.	2 { SARBUPRI 1
KBKI	6 S. B. I. I.	2 (GERAKAN PEMUDA ISLAM)	{ S. B. K. A. 1
PETANI	4 (SERIKAT BURUH ISLAM)	1 PARTAI KEDAULATAN RAKJAT	{ S. B. KEM 1
PPPI	1 G. P. I. I.		{ PERHUBUNGAN 1
(Persataan Pamong Desa Indonesia)	1 H. M. I.		1 GERWANI 4
			1 PEMUDA RAKJAT 1
			1 PGRI 1
			1 "H. R." 1
			1 W. F. T. U. 1
			1 BAPERKI 1

(イ) 種族別

種族	P N I		MASJUMI		N U		P K I	
	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)
印度・アラブ			2	2.1				
華僑	3	3.1					2	3.7
ジャワ	54	53.5	14	14.9	19	24.4	28	52.8
スダ	16	15.8	11	11.7	2	2.5	6	11.3
(マドゥラ)			1	1.1	1	1.3	1	
アチエ			4	5.3				
パタック	2	1.9	5	5.3	1	1.3	1	1.9
マレイ	6	6.0	13	16.0	5	6.4	5	9.5
ミナンカバウ	2	1.9	16	17.0	1	1.3	3	5.7
パリ	5	5.0					1	1.9
小スンダ	3	3.1	4	4.3	1	1.3		
ミナハサ	2	1.9					1	1.9
ブギス・マカッサル	2	1.9	11	11.7	3	3.8	1	1.9
アンボン・モルッカ			2	2.1			3	5.7
不詳	7	6.0	8	8.5	45	57.7	2	3.7
計	102	100.0	91	100.0	78	100.0	54	100.0

(ロ) 地位称号

	P N I(102)	MASJUMI(91)	N U(77)	P K I(54)
SULTAN	1			
RADEN MAS	1	1		
RADEN	13	1	5	
MAS	1	1		1
—NINGRAT—	2	1		
—NG Gde—	1			
—Bagus Putra—	1			
—Gde Putra—	1			
Teng Ku	1			
DAENG	1			
ANDI		2		
ANDI SULTAN DAENG		1		
計	23	7	5	1

資料

(四) 教育水準

水準	I		II		III		IV		V		VI		VII		VIII		IX									
	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)	人数	比率(%)								
大学	13(3)	15.8	5(2)	8.8	1	1.3	2(1)	11.1					4(2)		2(2)	50.0	2(1)	42.8								
専門	6	22.8	1	11.0		2.6	1	1.9	1	7.05	1	12.5		1		12.5		1								
MOS	5		5																							
VIA	2		1																							
OSV	10		2		1		2																			
IA																										
NIAS																										
STO																										
VIA																										
(その他)																										
中等	20	54.5	4	15.4	1	1.3	15	64.8	4	28.6	1	12.5	1	1	2	37.5	1	14.3								
高等	25		9		13		7																			
初等	1	1.0	2	2.2	3	3.9	7	12.9	3	21.4							1	14.3								
不詳	5	4.9	1	1.1	1	1.3	2	3.7	1	7.05																
宗教教育	1	1.0	9(8)	61.5	3(2)	89.7	1※	5.6	1(1)	35.7	3(3)	75.0	3	1												
大			20(9)		30(16)		2		3		3															
高		26	33	4																						
中		1	4																							
初																										
小計	1		56(17)		70(18)		3		5(1)		6(3)		4													
計	101	100.0	91	100.0	78	100.0	54	100.0	14	100.0	8	100.0	12		8	100.0	7	100.0								

(注) I—PNI(議席数102) II—MASJUMI(議席数91) III—NU(議席数78) IV—PKI(議席数54) V—PSII(議席数14) VI—PERTI(議席数8) VII—PARKINDO(議席数12) VIII—KATHOLIK(議席数7) IX—PSI(議席数7)

()内は留学。

(五) 専攻(学位・資格)

専攻	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
法 学	10	3		2			4	3	3
医 学	6	2		2					
工 学	1								
社 会 経 済	1	3	1						
文 芸		1		1					1
O S V I A	5	5	2		1		1		
S T O V I A		1						1	
M O S V I A	6	1		1		1			1
N I A S	2	1							
計									

(注) 区分は第5表(付)に同じ。

(b) 職 歴

職 種	~1942								1942~45							
	I		II		III		IV		I		II		III		IV	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
官公吏	105	36.0	72	28.2	2	6.7			144	44.4	72	34.7	32	27.1	1	35.3
各級行政首長 情報務の係 その他	151		49		2		51	261	115		122		92			
専門職業	189	51.2	61	37.4	2	44	68	80.6	195	39.8	5	253	2	27	74	44.1
公立教団 私立宗教 ジャーナリスト 医療技術 芸術	6362		13		1		41		1161		13		1		1	
民間	37	11.6	2	2.6	7	11.7	24	19.4	26	8.6	1	2.8	4	5.7	12	8.8
地企業主 企業職 労働組合	7		2		7		4		6		1		2			
労働者	1	1.2			1	1.7						4.2	2	20.0	2	11.8
農																
軍警	KNIL(警)PETA TNI								3	3.2	3		12		2	
計	86100.0		78100.0		60100.0		31100.0		93100.0		72100.0		70100.0		34100.0	

職 種	1945~50								1950~56							
	I		II		III		IV		I		II		III		IV	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
官公吏	181	55.9	91	47.3	43	38.6	1	28.9	261	75.8	81	63.3	21	56.2		31.2
各級行政首長 情報務の係 その他	224		196		182		102		32		342		38		82	
専門職業	127	25.8	2	171	1	22	4	20.0	71	17.6	12	25.4	2	161	31	21.9
公立教団 私立宗教 ジャーナリスト 医療技術 芸術	41		13		2		1		4		1		1			
民間	31	4.3	3	5.4	4	7.1	27	20.0	42	6.6	61	9.9	7	9.6	113	43.8
地企業主 企業職 労働組合	1		1		1		7		2		1		1			

(c) 1945~50年

P N I		MASJUMI		N U		P K I	
PNI	12	MASJUMI	25	HIZUBULLAH	7	PESINDO	6
TNI	3	G. P. I. I.	8	その他 ゲリラ	4	TNI ゲリラ	8
BARISAN PELOPOR	4	HIZBULLAH SABILILLAH	7	G. P. I. I.	3	API	1
PESINDO	1	MUHAMMADIYAH	2	MUSLIMAT NU	6	PNI	1
その他 ゲリラ	7	SARIKAT DAGANG	1	MADJELIS ISLAM	1	BTI	1
DEWAN NASIONAL	1	IKATAN ALIM ULAMA	1	KOWANI	1	AKADEMI SENI	1
API	1	IKATAN PAMONG DESA ISLAM	1	I. P. P. I.	1	LEKRA	1
ANGKATAN MUDA	4	PSII	1	PARTAI ISLAM LOMBOK	1		
SOBSI	1	P. G. R. I.	1				
GNI	1	DEWAN ECOMOMI INDON					
S. B.	1						
KOPERASI	4						
{ SUKARELA	1						
{ TION GHOA							
{ KAKYO SOKSI	1						

(d) 1950~63年

P N I		MASJUMI		N U		P K I	
PNI 中央	2	MASJUMI	—	NU 中央	4	PKI 中央	1
支部	34	KOWANI	1	支部	25	支部	6
PEMUDA DEMOKRAT	6			ANSOR	1	BTI	7
WANITA DEMOKRAT	5			PERTANO	1	SOBSI	6
PETANI	4			PPS	1	PEMUDA RAKJAT	3
KBKI	1					GERWANI	2
SOBSI	1					SARBUPRI	2
KENSI	1					PERBPSI	1
PERS PAMONG DESA	1					PPDI	1
						LEKRA	1
						SBKB	1
						SBPP	1
						BAPERKI	1

資 料

第6表 DPR-GR, MPRS の新任議員*

(注) *ここで新任議員とは DPPS(1950~55年), DPR(1956~60年), KONSTITUANTE のいづれにも議席をもったことのないものを指す。

Almanak Lembaga² Negara dan Kepartaian 参照。

(出所) 第5表と同じ。

(イ) 生 年

生 年	P N I		N U		P K I	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
1891~ 95			1	4.35		
1896~1900	2	5.3	1	4.35		
1901~ 05	4	10.5			2	12.5
1906~ 10	4	10.5	2	8.7	1	6.2
1911~ 15	2	5.3	3	13.0	4	25.0
1916~ 20	8	21.0	4	17.4	2	12.5
1921~ 25	8	21.0	6	26.1	3	18.8
1926~ 30	5	13.2	4	17.4	4	25.0
1931~ 35	2	5.3	1	4.35		
1936~ 40						
不 詳	3	7.9	1	4.35		
計	38	100.0	23	100.0	16	100.0

(ロ) 出生地

	P N I		N U		P K I	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
北スマトラ(含アチェ)	3	7.9	1	4.4	1	6.25
西スマトラ	1	2.6	1	4.4	1	6.25
東スマトラ	1	2.6				
南スマトラ	1	2.6	1	4.4		
西ジャワ	7	18.5	2	8.7	2	12.5
中ジャワ	5	13.1	2	8.7	5	31.25
東ジャワ	5	13.1	7	30.4	3	18.75
バリ	2	5.3	1	4.4	2	12.5
小スンダ						
カリマンタン	3	7.9	3	13.0	1	6.25
スラヴェシ	2	5.3				
モルッカ	1	2.6				
(マドゥラ)	3	7.9	1	4.3		
ジャカルタ	2	5.3			1	6.25
不 詳	2	5.3	1	4.3		
計	38	100.0	23	100.0	16	100.0

(ハ) 種 族 別

	P N I		N U		P K I	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
印 人	1	2.6				
欧 人	8	21.1	1	4.4		
ア ジ ス	7	18.4	6	26.0	8	50.0
バ マ	3	7.9			2	12.5
ミ ナ	4	10.5	1	4.4	1	6.25
パ ナ	1	2.6	1	4.4	1	6.25
バ ナ	2	5.3			2	12.5
ミ ナ	1	2.6				
ブギス	2	5.3			1	6.25
モ ル	2	5.3				
不 詳	7	18.4	14	60.8	1	6.25
計	38	100.0	23	100.0	16	100.0

(ニ) 地 位 称 号

	P N I	P K I
Sri Rd AGUNG Gde -NINGRAT-	1	1
計	2	2

(ホ) 教 育 水 準

水 準	P N I		N U		P K I	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
大学	4	21.1	2	8.7	1	6.25
専門	1	10.5	1	4.3	5	31.25
中 等	12	50.0	1	4.3	1	6.25
初 不	6	15.8	1	4.2	2	12.5
宗 教	2	5.3	2	8.7	2	12.5
小 計	18		18		2	
総 計	38	100.0	23	100.0	16	100.0

資料

(ア) 専攻学位

	P N I	N U	P K I
工 社 会 経 業 政 会 経 治 STOVIA	1 2 1	1	1

(イ) 留学先

P N I		N U	
ア メ リ カ	2	ア ズ ハ ル	1
イ ギ リ ス	1	ニ ジ ブ ト	1
ヨ ー ロ ッ パ	1	メ ッ カ	3

(ウ) 職 歴

職 種	~1942						1942~45					
	I		II		III		I		II		III	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
官公吏 各 級 行 政 首 長 所 の 他 { 中 央 地 方 }	2 5	38.9	2	14.3	1	9.1	1 3 8	60.0	1	6.7		
専 門 職 業 公 私 シ 弁 医 技 立 一 ナ 教 教 リ ス 立 ナ 護 リ ス 師 師 ト 士 師 師	4 3		38.9	7 1	57.2	3 2 1 2	72.7		4 2	30.0	7 1	53.3
民 間 地 企 主 業 企 職 業 主 員	4	22.2		1		7.1					1	
勞 農 勞 農 働 働 組 合 者 民			1 2	21.4	2	18.2			1 2	20.0	2 1	33.3
軍 警 PETA, TNI, ゲ リ ラ							1	5.0				
計	18	100.0	14	100.0	11	100.0	20	100.0	15	100.0	9	100.0
職 種	1945~50						1950~63					
	I		II		III		I		II		III	
	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)	人数	比率 (%)
官公吏 各 級 行 政 首 長 所 の 他 { 中 央 地 方 }	4 1 4	33.3			1 2	25.0	6 2 14	66.7	3 8	47.8	1	7.1
専 門 職 業 公 私 シ 弁 医 技 立 一 ナ 教 教 リ ス 立 ナ 護 リ ス 師 師 ト 士 師 師	4 2		22.2	4 1 1	33.3						1 2	9.1
民 間 地 企 主 業 企 職 業 主 員	2 1	11.1		1 2		16.7	1 1	16.65	5 3	24.2	2	
勞 農 勞 農 働 働 組 合 者 民					1 1	16.65			1 2	13.1	8	57.2
軍 警 PETA, TNI, ゲ リ ラ	9	33.4	3	16.7	4	33.4						
計	27	100.0	18	100.0	12	100.0	33	100.0	23	100.0	14	100.0

(注) I—PNI, II—NU, III—PKI

資 料

(9) 政治団体所屬

(a) 1942年まで

P N I		N U		P K I	
PNI	3	NU	8	B. U.	1
PARINDRA	3	ANSOR	2	Jong Java	1
GERINDO	2	Pers Guru NU	1	PARTINDO	1
PARTINDO	2	PNI	2	労働運動	1
INDISCHE PARTIJ	2	PARINDRA	2		
MUHAMMADIYAH	1	J. I. B.	1		
PKI	1	S. I.	1		
PEMUDA INDON	1	PARTINDO	1		
PPPKI	1	PERMI	1		
TIMORSCHHE VERBOND	1				

(b) 1942~45年

P N I		N U		P K I	
P E T A	2	MASJUMI (NU)	10	反日地下運動	1
		Pemuda Muslimin	1	“DIGUL”	1
		PKR	1	AUSTRALIA	1
		BARISAN BANTENG HITAM	1		

(c) 1945~50年

P N I		N U		P K I	
PEMUDA DEMOKRAT	4	MASJUMI		PNI	2
PESINDO	2	SABILILLAH	3	PKI	1
PKRS	1	TRI	2	PARTAI BURUH INDONESIA	1
その他 ゲリラ	5	その他 ゲリラ	2	KRI	1
TNI	3			IPPI	1
PKI	1			IRMI	1
API	1			MBP	1
S. B.	1			RIPERPINDO	1
BNI	1			TNI	1
				BARISAN MERAH	1
				PESINDO	1

(d) 1950~63年

P N I		N U		P K I	
PNI	27	NU	18	PKI	1
PETANI	7	ANSOR	2	BTI	8
KBKI	6	GASBINDO	1	SOBSI	2
GMNI	1	SARBUMSI	1	LEKRA	1
WANITA DEMOKRAT	1			GERWANI	1
				SBPP	1
				KOMITE PERDAMAIAN INDON	1

(調査研究部東南アジア第1調査室 安中章夫)